

企業と連携した総合的な学習の時間の在り方



総合的な学習の時間

5・6年F組担任

矢出 大介



1 地域教材+企業連携=自己の生き方の変容

これからの社会はAIなどの進出によって人間のする仕事がなくなっていくかもしれないなど、未来を予想できないと言われています。その中で、子どもたちには、不安な気持ちで過ごすのではなく、自分はこのような大人になりたいと思って日々の生活を送ってほしいと願っています。

そのためには、子どもたちが、主体的・対話的で深い学びを通して、自己の生き方を変容していくことが必要になってきます。

総合的な学習の時間は「ひと・もの・こと」との出会いを中心にした地域教材を大事にしてきました。子どもの学びにとってこれからも大切であることは間違いありません。この地域教材に加えて、企業と連携することで、子どもの学びが広がると考えています。なぜなら、地域によっては魅力的な教材はなかったり、偏っていたりすることもある。それを補うために企業と連携するべきだと考えました。

多くの企業は、未来ある子どものためにカリキュラムデザインをしています。1時間だけのゲストティーチャーとしての学校に関わるだけでなく、年間を通して関わってくれる企業もあります。総合的な学習の時間において探究的な学びを実現するために、一度企業との連携を考えてみてはどうでしょうか。

2 企業とともに作るカリキュラムデザインを楽しむ

企業は、実社会に必要な資質・能力を育成するためのカリキュラムを各企業の特徴に合わせて考えています。しかし、すべての学級でそのカリキュラムを適応するわけではありません。子どもの実態によって変更する必要があります。教師や子どもの願い、子どもの実態を踏まえて、教師は企業と打ち合わせをしながらより良いカリキュラムを作成していくことを楽しむ気持ちが大切になります。

3 昨年度の実践紹介 単元名 学校改革～みんながイノベーター～

最初のカリキュラム	変更後のカリキュラム
学校改革をするための準備をしよう	学校のリーダーに！イノベーターと出会う
学校のリーダーに！イノベーターと出会う	学校改革をするための準備をしよう
課題について考えよう	課題について体験しながら考えよう
課題の解決方法を考えよう	体験から考えた課題の解決方法を実践しよう
課題を解決するための準備をしよう	課題を解決するための準備をしよう
課題の解決方法を考えよう	課題の解決方法を考え、実践しよう
学校改革案のための情報の整理・分析をする	学校改革案のための情報の整理・分析をする
課題解決にむけてグループで話し合う	課題解決にむけてグループで話し合う
中間発表をして、アドバイスをもらおう	中間発表をして、アドバイスをもらおう
学校改革案について話し合い、準備をしよう	学校改革案について話し合い準備をしよう
最終発表をしよう	最終発表をしよう
学校改革案を校長先生に伝えよう	学校改革案を校長先生に伝えよう
学校改革を実行しよう	学校改革を実行しよう
実行したことの振り返りをしよう	実行したことの振り返りをしよう

子どもの実態を考えて、単元の最初に体験を通した学びを多くしました。それにより、体験から感じた学びを共有し、主体的に課題解決に向かうことができました。これまで大切にしてきた「ひと・もの・こと」の出会いを大切にしたい学びに、企業が考える資質・能力を育成するための学びを融合することでより良い学びが実現するのではないかと感じています。そのために、教師は様々な「ひと・もの・こと」をつなぐコーディネーターとしての役割をする必要もあると思います。